



## 北海道公立大学法人札幌医科大学第3期中期計画 新旧対照表

改正後	現行																								
<p>2 教育研究上の基本組織 この中期計画を達成するため、次のとおり教育研究上の基本組織を置く。</p> <table border="1" data-bbox="252 401 955 856"> <tr> <td>医学部</td> <td>医学科</td> </tr> <tr> <td>保健医療学部</td> <td>看護学科 理学療法学科 作業療法学科</td> </tr> <tr> <td>医療人育成センター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>医学研究科 保健医療学研究科</td> </tr> <tr> <td>専攻科</td> <td>公衆衛生看護学専攻 助産学専攻</td> </tr> <tr> <td>附属施設</td> <td>病院 総合情報センター 産学・地域連携センター</td> </tr> </table>	医学部	医学科	保健医療学部	看護学科 理学療法学科 作業療法学科	医療人育成センター		大学院	医学研究科 保健医療学研究科	専攻科	公衆衛生看護学専攻 助産学専攻	附属施設	病院 総合情報センター 産学・地域連携センター	<p>2 教育研究上の基本組織 この中期計画を達成するため、次のとおり教育研究上の基本組織を置く。</p> <table border="1" data-bbox="1596 401 2300 856"> <tr> <td>医学部</td> <td>医学科</td> </tr> <tr> <td>保健医療学部</td> <td>看護学科 理学療法学科 作業療法学科</td> </tr> <tr> <td>医療人育成センター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>医学研究科 保健医療学研究科</td> </tr> <tr> <td>助産学専攻科</td> <td></td> </tr> <tr> <td>附属施設</td> <td>病院 総合情報センター 産学・地域連携センター</td> </tr> </table>	医学部	医学科	保健医療学部	看護学科 理学療法学科 作業療法学科	医療人育成センター		大学院	医学研究科 保健医療学研究科	助産学専攻科		附属施設	病院 総合情報センター 産学・地域連携センター
医学部	医学科																								
保健医療学部	看護学科 理学療法学科 作業療法学科																								
医療人育成センター																									
大学院	医学研究科 保健医療学研究科																								
専攻科	公衆衛生看護学専攻 助産学専攻																								
附属施設	病院 総合情報センター 産学・地域連携センター																								
医学部	医学科																								
保健医療学部	看護学科 理学療法学科 作業療法学科																								
医療人育成センター																									
大学院	医学研究科 保健医療学研究科																								
助産学専攻科																									
附属施設	病院 総合情報センター 産学・地域連携センター																								
<p>第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する目標を達成するための措置</p> <p>ア (現行と同じ。)</p> <p>イ 入学者に求める人物像と入学選抜のあり方をアドミッション・ポリシーに明確化するとともに、アドミッション・ポリシーに即した入学選抜方法の検証(入試結果の分析及び課題整理)と見直しを図り、国際レベルの研究及び地域医療に貢献する意欲と資質を持った入学者を確保するための取組を推進する。特に、両学部においては、令和2年度からの高大接続改革に基づき、共通テストの導入や学力の三要素を適正に評価するための入試方法を検討し、運用を図る。</p> <p>ウ (現行と同じ。)</p> <p>(2) (現行と同じ。)</p> <p>(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>ア・イ (現行と同じ。)</p> <p>ウ <u>専攻科公衆衛生看護学専攻の教育実施体制について検証し、更なる教育の充実に向けて必要な見直しを行う。</u></p> <p>(4) (現行と同じ。)</p> <p>2～5 (現行と同じ。)</p> <p>第3～第6 (現行と同じ。)</p>	<p>第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する目標を達成するための措置</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 入学者に求める人物像と入学選抜のあり方をアドミッション・ポリシーに明確化するとともに、アドミッション・ポリシーに即した入学選抜方法の検証(入試結果の分析及び課題整理)と見直しを図り、国際レベルの研究及び地域医療に貢献する意欲と資質を持った入学者を確保するための取組を推進する。特に、両学部においては、平成32年度からの高大接続改革に基づき、共通テストの導入や学力の三要素を適正に評価するための入試方法を検討し、運用を図る。</p> <p>ウ (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>ア・イ (略)</p> <p>ウ <u>質の高い保健師を育成するため、保健師養成課程の見直しを行うなど、教育の充実に向けた検討を進める。</u></p> <p>(4) (略)</p> <p>2～5 (略)</p> <p>第3～第6 (略)</p>																								

北海道公立大学法人札幌医科大学第3期中期計画 新旧対照表

改正後			現行		
第7 指標・数値目標			第7 指標・数値目標		
No.	事項	指標・数値目標	No.	事項	指標・数値目標
1	(現行と同じ。)		1	(略)	
2	教育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育課程の見直し・検証：年1回（令和3年度～）</li> <li>教養教育プログラムの作成：令和元年度</li> <li>医療人育成センターにおける検証及び医療人育成センター運営委員会としての点検・評価の実施：年1回（令和3年度～）</li> </ul>	2	教育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育課程の見直し・検証：年1回（平成33年度～）</li> <li>教養教育プログラムの作成：平成31年度</li> <li>医療人育成センターにおける検証及び医療人育成センター運営委員会としての点検・評価の実施：年1回（平成33年度～）</li> </ul>
3	教育方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学の課題に応じたFDセミナーの実施：年1回以上</li> <li>教員の研修会、セミナー等への参加：年1回以上</li> <li>ワークショップ開催：年2回以上</li> <li>教育方法の定期的な検証及び必要な改善：年1回（令和3年度～）</li> <li>情報通信技術を活用した授業の履修者の満足度：80%以上</li> <li>情報通信技術を活用した授業科目数の増：5科目以上</li> </ul>	3	教育方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学の課題に応じたFDセミナーの実施：年1回以上</li> <li>教員の研修会、セミナー等への参加：年1回以上</li> <li>ワークショップ開催：年2回以上</li> <li>教育方法の定期的な検証及び必要な改善：年1回（平成33年度～）</li> <li>情報通信技術を活用した授業の履修者の満足度：80%以上</li> <li>情報通信技術を活用した授業科目数の増：5科目以上</li> </ul>
4	(現行と同じ。)		4	(略)	
5	教育の実施体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな医療人育成に係る組織体制の構築：令和元年度</li> <li>医療人育成センター運営委員会においての新たな医療人育成に係る組織体制の点検：毎年10月～3月（令和2年度～）</li> <li>利用者の満足度調査結果を反映した臨床技能トレーニング施設の充実</li> <li>eラーニングを効果的に用いた自主学習の充実</li> <li>保健師養成課程の見直しの反映：令和2年度</li> <li>学生の授業満足度又は肯定的意見の割合：80%以上</li> </ul>	5	教育の実施体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな医療人育成に係る組織体制の構築：平成31年度</li> <li>医療人育成センター運営委員会においての新たな医療人育成に係る組織体制の点検：毎年10月～3月（平成32年度～）</li> <li>利用者の満足度調査結果を反映した臨床技能トレーニング施設の充実</li> <li>eラーニングを効果的に用いた自主学習の充実</li> <li>保健師養成課程の見直しの反映：平成32年度</li> <li>学生の授業満足度又は肯定的意見の割合：80%以上</li> </ul>
6～8	(現行と同じ。)		6～8	(略)	
9	診療	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携拠点病院としての中核的な役割を担うためのセミナー等の開催：年22回以上</li> <li>がん診療患者数（肝がん含む）：年53,700人以上</li> <li>肝疾患診療患者数（肝がん以外）：年950人以上</li> <li>神経再生医療の患者受入病床の整備（10床）：令和元年度</li> <li>神経再生医療の患者受入病床の充実：令和2年度～</li> <li>神経再生医療において連携する関連施設の確保：2箇所以上（令和6年度）</li> <li>紹介状持参患者数：年13,900人以上</li> <li>既存棟改修計画に基づく既存棟の改修工事：令和元～4年度</li> <li>医療安全に関する講演会の受講率：100%</li> <li>手術支援ロボット手術件数：244件（令和6年度）</li> <li>既存棟改修計画に基づく手術支援ロボット対応手術室の整備：令和元年度</li> <li>既存棟改修計画に基づく熱傷ケアユニットの整備：令和4年度</li> </ul>	9	診療	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携拠点病院としての中核的な役割を担うためのセミナー等の開催：年22回以上</li> <li>がん診療患者数（肝がん含む）：年53,700人以上</li> <li>肝疾患診療患者数（肝がん以外）：年950人以上</li> <li>神経再生医療の患者受入病床の整備（10床）：平成31年度</li> <li>神経再生医療の患者受入病床の充実：平成32年度～</li> <li>神経再生医療において連携する関連施設の確保：2箇所以上（平成36年度）</li> <li>紹介状持参患者数：年13,900人以上</li> <li>既存棟改修計画に基づく既存棟の改修工事：平成31～34年度</li> <li>医療安全に関する講演会の受講率：100%</li> <li>手術支援ロボット手術件数：244件（平成36年度）</li> <li>既存棟改修計画に基づく手術支援ロボット対応手術室の整備：平成31年度</li> <li>既存棟改修計画に基づく熱傷ケアユニットの整備：平成34年度</li> </ul>

北海道公立大学法人札幌医科大学第3期中期計画 新旧対照表

改正後			現行		
No.	事項	指標・数値目標	No.	事項	指標・数値目標
10	(現行と同じ。)		10	(略)	
11	運営の改善及び効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療収入に対する医薬材料費の割合：40.7%以下</li> <li>病床利用率：86.2%以上（令和6年度）</li> </ul>	11	運営の改善及び効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療収入に対する医薬材料費の割合：40.7%以下</li> <li>病床利用率：86.2%以上（平成36年度）</li> </ul>
12	地域医療等への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療を支える公的医療機関への医師の派遣件数：1,350件以上（令和6年度）</li> <li>看護院内研修の受入数：年11名以上</li> <li>助産師キャリアパスの策定：令和元年度</li> <li>助産師出向に係るマニュアルの整備：令和2年度</li> <li>DMA T（当院外隊員も含む。）チーム数の増：2チーム以上（令和6年度）</li> <li>院内原子力災害医療派遣チーム数の増：2チーム以上（令和6年度）</li> <li>北海道DMA T養成研修の開催：年1回</li> <li>がんに関する相談件数：年1,290回以上</li> <li>肝疾患に関する相談件数：年880回以上</li> <li>エイズに関する相談件数：年140回以上</li> <li>大学施設を避難施設として提供する際の手順の設定：令和元年度</li> <li>地域住民に対する支援策の策定：令和2年度</li> <li>避難救護物資の備蓄に関する検討：令和2年度</li> <li>各種審議会委員等への就任件数：年313件以上</li> <li>講師等派遣件数：年720件以上</li> <li>本学が主催する公開講座、セミナー等の開催：年平均60回以上</li> <li>看護、リハビリテーション及び福祉に関する公開講座の開催：年1回以上</li> <li>高校出前講座の開催：年4回以上</li> <li>専門職対象研修会の開催：年3回以上</li> </ul>	12	地域医療等への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療を支える公的医療機関への医師の派遣件数：1,350件以上（平成36年度）</li> <li>看護院内研修の受入数：年11名以上</li> <li>助産師キャリアパスの策定：平成31年度</li> <li>助産師出向に係るマニュアルの整備：平成32年度</li> <li>DMA T（当院外隊員も含む。）チーム数の増：2チーム以上（平成36年度）</li> <li>院内原子力災害医療派遣チーム数の増：2チーム以上（平成36年度）</li> <li>北海道DMA T養成研修の開催：年1回</li> <li>がんに関する相談件数：年1,290回以上</li> <li>肝疾患に関する相談件数：年880回以上</li> <li>エイズに関する相談件数：年140回以上</li> <li>大学施設を避難施設として提供する際の手順の設定：平成31年度</li> <li>地域住民に対する支援策の策定：平成32年度</li> <li>避難救護物資の備蓄に関する検討：平成32年度</li> <li>各種審議会委員等への就任件数：年313件以上</li> <li>講師等派遣件数：年720件以上</li> <li>本学が主催する公開講座、セミナー等の開催：年平均60回以上</li> <li>看護、リハビリテーション及び福祉に関する公開講座の開催：年1回以上</li> <li>高校出前講座の開催：年4回以上</li> <li>専門職対象研修会の開催：年3回以上</li> </ul>
13・14	(現行と同じ。)		13・14	(略)	
15	運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事長（学長）の意思決定を支援する組織の整備：令和2年度</li> <li>理事長（学長）の意思決定を支援する組織の点検・必要な見直し：年1回（令和3年度～）</li> </ul>	15	運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事長（学長）の意思決定を支援する組織の整備：平成32年度</li> <li>理事長（学長）の意思決定を支援する組織の点検・必要な見直し：年1回（平成33年度～）</li> </ul>
16	(現行と同じ。)		16	(略)	
17	収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学研究費補助金の申請数：年平均323件以上</li> <li>法人の自己収入：平成30年度対比5%増（令和6年度）</li> </ul>	17	収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学研究費補助金の申請数：年平均323件以上</li> <li>法人の自己収入：平成30年度対比5%増（平成36年度）</li> </ul>
18	(現行と同じ。)		18	(略)	
19	資産の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>保有資産利活用状況の点検：令和3・6年度</li> <li>課題の検討整理及び管理運用方法の改善：令和元・4年度</li> </ul>	19	資産の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>保有資産利活用状況の点検：平成33・36年度</li> <li>課題の検討整理及び管理運用方法の改善：平成31・34年度</li> </ul>
20	評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>P D C Aサイクルが効果的かつ効率的に機能する計画・評価の仕組み及び体制の見直し：令和元年度</li> </ul>	20	評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>P D C Aサイクルが効果的かつ効率的に機能する計画・評価の仕組み及び体制の見直し：平成31年度</li> </ul>
21	(現行と同じ。)		21	(略)	

北海道公立大学法人札幌医科大学第3期中期計画 新旧対照表

改正後			現行		
No.	事項	指標・数値目標	No.	事項	指標・数値目標
22	施設設備の整備、活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究施設Ⅱ及び大学管理施設の整備・移転：<u>令和元・2年度整備、令和3年度移転</u></li> <li>・基礎医学研究棟の改修・移転：<u>令和2・3年度</u></li> <li>・附属病院既存棟の改修・移転：<u>令和元～4年度</u></li> <li>・施設の改修・更新工事：<u>令和元～6年度</u></li> <li>・耐用年数の延長：<u>概ね20年以上利用</u></li> </ul>	22	施設設備の整備、活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究施設Ⅱ及び大学管理施設の整備・移転：<u>平成31・32年度整備、平成33年度移転</u></li> <li>・基礎医学研究棟の改修・移転：<u>平成32・33年度</u></li> <li>・附属病院既存棟の改修・移転：<u>平成31～34年度</u></li> <li>・施設の改修・更新工事：<u>平成31～36年度</u></li> <li>・耐用年数の延長：<u>概ね20年以上利用</u></li> </ul>
23 ・24	(現行と同じ。)		23 ・24	(略)	
<p>第8～第13 (現行と同じ。)</p> <p>(別紙)</p> <p>[予算]</p> <p style="padding-left: 40px;">令和元年度～令和6年度予算</p> <p>(現行と同じ。)</p> <p>[運営費交付金の算定ルール]</p> <p>(現行と同じ。)</p> <p>A・B (現行と同じ。)</p> <p>C 病院収入の算定 (①+②)</p> <p style="padding-left: 20px;">①診療収入</p> <p style="padding-left: 40px;">前年度算定額×(令和元年度：2.6%、令和2年度以降：0.5%)</p> <p style="padding-left: 20px;">② (現行と同じ。)</p> <p>D (現行と同じ。)</p> <p>[収支計画]</p> <p style="padding-left: 40px;">令和元年度～令和6年度収支計画</p> <p>(現行と同じ。)</p> <p>[資金計画]</p> <p style="padding-left: 40px;">令和元年度～令和6年度資金計画</p> <p>(現行と同じ。)</p> <p>用語説明 (現行と同じ。)</p>			<p>第8～第13 (略)</p> <p>(別紙)</p> <p>[予算]</p> <p style="padding-left: 40px;">平成31年度～平成36年度予算</p> <p>(略)</p> <p>[運営費交付金の算定ルール]</p> <p>(略)</p> <p>A・B (略)</p> <p>C 病院収入の算定 (①+②)</p> <p style="padding-left: 20px;">①診療収入</p> <p style="padding-left: 40px;">前年度算定額×(平成31年度：2.6%、平成32年度以降：0.5%)</p> <p style="padding-left: 20px;">② (略)</p> <p>D (略)</p> <p>[収支計画]</p> <p style="padding-left: 40px;">平成31年度～平成36年度収支計画</p> <p>(略)</p> <p>[資金計画]</p> <p style="padding-left: 40px;">平成31年度～平成36年度資金計画</p> <p>(略)</p> <p>用語説明 (略)</p>		